

あいかわ 議会だより

第 188 号

令和8年2月15日発行

県立あいかわ公園と

雄大な空



県立あいかわ公園HP

- 物価高騰対策事業に係る補正予算を可決…………… P.2
～地域振興券の配布など支援事業を実施～
- 国に2件、県に1件 意見書を提出…………… P.4
- 11人の議員が一般質問で登壇 町政を問う…………… P.6～11

〈第4回12月定例会、第1回1月臨時会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！
スマホで簡単応募



詳しくはP13をご覧ください

責任者 議会議長 山中 正樹
年4回発行

愛川町議会

令和7年第4回愛川町議会「12月定例会」は、12月2日から12日までとしていましたが、追加された重要議案審議のため会期を5日間延長し、12月17日までの合計16日間（本会議開催日5日間）にわたり開催されました。条例と補正予算合わせて8件の町長提出議案、議員提出議案及び委員会提出議案各2件を審議し、全議案を可決するとともに、陳情6件を審査しました。

また、令和8年第1回愛川町議会「1月臨時会」は1月15日に開催され、条例と補正予算の町長提出議案を審議し、可決しました。

12月定例会

条例議案

◎愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

（賛成全員）
人事院勧告の内容に準拠し、一般職の職員、定年前再任用時短勤務職員及び特定任期付職員の給与改定に係る所要の改正を行うものです。

【施行期日 公布の日】

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

（賛成全員）
一般職の職員の給与改定に準拠し、常勤特別職

（町長、副町長及び教育

長）の期末手当の支給割合の改定を行うものです。

【施行期日 公布の日】

◎愛川町火災予防条例の一部改正

（賛成全員）
令和7年2月に発生した大船渡市の林野火災を踏まえ、林野火災予防の実効性を高めるため、所要の改正を行うものです。

主な内容は、林野火災に関する注意報の創設で、予防上注意を要すると認められる気象状況の際に注意報を発することができ

るようになるものです。また、注意報が解除されるまでの間、火の使用の制限に従う努力義務が課されることに加え、そ

の対象区域を指定できる

ようにするものです。

【施行期日

令和8年1月1日】

補正予算

◎令和7年度愛川町一般会計補正予算（第4号）

（賛成全員）
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2,982万1千円を追加し、一般会計の総額を156億2,879万6千円としたものです。

主な内容は、給与改定に伴う人件費の補正と、築50年が経過した役場本

庁舎の建替えを検討する

にあたり、その整備に向けた基礎資料の作成業務を委託するための費用のほか、令和7年度から一



部の町内小学校で実施している水泳授業の民間委託を、次年度は対象校を拡大して実施するため、施設の使用等に係る費用を増額します。

令和7年第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	火	本会議 総務建設 常任委員会	町長提出議案の説明 議員提出議案の説明 所管事務調査
	4	木	本会議	一般質問（6人）
12	5	金	本会議	一般質問（5人）
	9	火	教育民生 常任委員会	陳情審査 所管事務調査
	12	金	本会議	町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決 議員提出議案の説明、 質疑、討論、採決 委員会提出議案の説明、 質疑、討論、採決
17	水	本会議	町長提出議案の質疑、 討論、採決	

令和8年第1回臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
1	15	木	本会議	町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決

◎令和7年度愛川町一般会計補正予算（第5号）

（賛成全員）
歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億4,693万6千円を追加し、一般会計の総額を159億7,573万2千円としたものです。

内容は、子育て世帯を支援し、子どもたちの健全な成長を応援する観点から、18歳以下の子ども一人あたりに2万円を支給する経費を増額します。

◎令和7年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）

（賛成全員）
また、食料品や燃料等の物価高騰による負担を軽減することを目的に、一世帯当たり7千円分と、加算分として19歳以上の町民一人あたり3千円分

議員提出議案

◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

（賛成全員）
一般職の職員や常勤特別職に準拠し、期末手当の支給割合の改定を行うものです。



3月上旬から世帯主宛に引換券が郵送されます

の地域振興券「愛川くらし応援券」を給付する経費を増額します。

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出
(賛成7人、反対6人)

すべての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成を拡充していくことは県政における重要課題であると考え、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、私学助成の一層の充実を図るため、県に意見書を提出します。

委員会提出議案

◎国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出
(賛成全員)

教職員の多忙化や不登校件数の増加など学校現場の課題が深刻化する中、国が責任をもって教育環境を整え、自治体間格差を生じさせないよう、必要な制度改正と予算措置を求めるため、国に意見書を提出します。

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出
(賛成全員)

就学支援金制度が拡充された現在も、私立高校の授業料や施設設備費、入学金などの負担は依然として重く、特に多子世帯や中間層では深刻です。すべての子どもの学ぶ権利を保障するため、公私の学費格差をさらに改善し、私学助成の一層の拡充を図るため、国に意見書を提出します。



個人総括質疑

条例及び補正予算について、阿部議員、茅大夢議員、熊坂議員、花上議員の4名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

愛川町火災予防条例の一部を改正する条例

■注意報発出方法の詳細について

債務負担行為補正

■役場庁舎等あり方・機能等検討事業の詳細について

防災行政無線管理経費増額

■増額の詳細について

物価高騰等対策地域振興券事業費

■事業の詳細について

1月臨時会

条例議案

◎愛川町水道事業給水条例の一部改正
(賛成全員)

令和6年に発生した能登半島地震を踏まえ、災害時等の円滑な復旧を目的として、他市町村長等の指定を受けた指定工事業者が給水装置工事を実施できるようにするため、所要の改正を行うものです。

補正予算

◎令和7年度愛川町一般会計補正予算(第6号)
(賛成全員)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,930万5千円を追加し、一般会計の総額を160億1,503万7千円としたものです。主な内容は、地球温暖化対策等を目的に、町内の販売店等において、省エネ基準達成率100パーセント以上の一般家庭用エアコンや冷蔵庫に買い替えた場合の購入費補助や、町立保育園又は民間保育施設に通園する園児の給食費のうち、令和8年1月から3月分について1か月あたり4,500円を補助するため増額するものです。

●陳情(審査の結果、机上配付となったもの)

受理番号	受理年月日	件名	陳情者	審査結果
22	R7.11.12	庁舎内における政党機関紙勧誘に伴う「心理的圧力」の調査結果を踏まえ、議員による勧誘禁止の確認及び職員を心理的圧力から保護する為の措置を求める陳情	横浜市旭区四季美台 55-6 ハラスメントから職員を守る神奈川県民の会 代表 出井 健三郎	机上配付
23	R7.11.12	職員団体の組合費給与天引き(チェックオフ)手続きの適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情	東京都葛飾区東新小岩1-1-1-401 自治労と自治労連から国民を守る党 代表 浜田 聡 前参議院議員	机上配付

令和8年2月15日

国・神奈川県に意見書を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載しております。

詳細は
こちらから



国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書

国に私学助成の拡充を求める意見書

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書

1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償給与制度を継続すること。

2 ゆきとどいた教育を実現するために、現行の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に向けた検討をすること。

3 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、スクール・サポート・スタッフ、介助員等の専門スタッフ職の拡充、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

4 子どもたちの心に寄り添うための、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月12日

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、
文部科学大臣 殿

公私問わず少人数学級や専任教諭増を進め、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を実現するためには、教育予算の大幅な増額が不可欠である。不登校やいじめの件数が過去最多を更新し、教員の長時間労働やなり手不足にも解決の見通しが見えない中で、学校教育の再生には教育予算そのものを増やすことこそ根本的な解決策となることは明らかである。

憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、公私の学費格差をさらに改善し、すべての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月12日

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、
文部科学大臣 殿

近代私学発祥の地、神奈川県の私学は、各校が健学の精神に基づき、切磋琢磨して特色のある教育をつくり、県民に多様な教育の機会を示して、豊かな日本社会の形成に寄与しており、神奈川県

の教育を支える担い手としての役割を果たし続けている。そうした私立学校に通う児童生徒の保護者負担を軽減し、私立学校の教育条件を向上させ、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成を一層拡充していくことは県政における重要課題であると考える。

憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、私学助成の一層の充実を図るため、令和8年度予算において私学助成の拡充を求めることを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月12日

神奈川県知事 殿

令和7年 第4回定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	議案等の件名	議決結果
町長提出第73号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第74号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第75号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第76号	令和7年度愛川町一般会計補正予算（第4号）	可 決
町長提出第77号	令和7年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出第78号	令和7年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出第79号	令和7年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
町長提出第80号	令和7年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	可 決
議員提出第7号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
陳情第18号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める陳情	採 択
陳情第24号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採 択
委員会提出第3号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について	可 決
委員会提出第4号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について	可 決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名	愛川の新時代					公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ		議決結果
		渡辺基	山中正樹	花上功	熊坂健太郎	茅大夢	岸上敦子	井出一己	佐藤りえ	鈴木信一	井上博明	小林敬子	阿部隆之	小島総一郎	
陳情第19号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情	○	※	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	趣旨了承
陳情第20号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情	○	※	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	趣旨了承
陳情第21号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情	○	※	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	趣旨了承
陳情第25号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	※	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	採 択
議員提出第8号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出について	○	※	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	可 決

・陳情第19号から21号は委員長報告の「趣旨了承」に対する賛否、
陳情第25号は委員長報告の「採択」に対する賛否です。

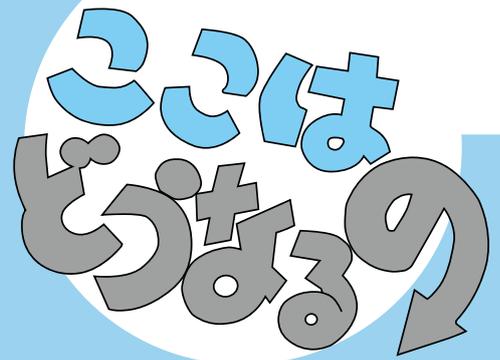
※議長は採決に加わりません

令和8年 第1回臨時会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	議案等の件名	議決結果
町長提出第1号	愛川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第2号	令和7年度愛川町一般会計補正予算（第6号）	可 決

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
なお、12月定例会の会議録は、3月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

茅 孝之 議員 P.6

・中津川を活かしたまちづくりについて

花上 功 議員 P.7

・正しい歴史教育の必要性について

井上 博明 議員 P.7

・危険木対策について ほか

鈴木 信一 議員 P.8

・高齢者外出支援策と今後の公共交通施策について ほか

岸上 敦子 議員 P.8

・災害対策について ほか

井出 一己 議員 P.9

・若者の定住促進について ほか

阿部 隆之 議員 P.9

・衛生プラントの今後について

渡辺 基 議員 P.10

・地域公共交通について ほか

佐藤 りえ 議員 P.10

・若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策について ほか

熊坂 健太郎 議員 P.11

・防災行政無線について ほか

茅 大夢 議員 P.11

・中津河岸段丘の景観について ほか



©愛川町

町長 官民連携により、ダム堤体内を活用したチーズの貯蔵という全国でも珍しい取り組みが始まりました。魅力をさらに高め、引き続き多くの方に訪れていただけるよう、国や県、事業者とより一層の連携強化に努めます。

堤体内チーズ貯蔵 引き続き官民連携

問 自然豊かな本町にとって中津川は大切な存在です。さらに魅力を高めるためには、国や県、宮ヶ瀬ダムと連携強化していくべきだと思いますが、町の考えを伺います。

川は大切な存在 ダムと連携強化



かや 茅 孝之 議員



課題改善や維持管理 住民参加は大変重要

問 本町では、水源
地跡地の事業が本格的に始まるため、地域住民や団体、組織、民間事業者等による協議会を設立し、様々な意見を収集することが必要になると思います。
その中でも、地域住民の声が一番重要になると思われますが、協議会を設立する場合には、周辺住民との関わりはどのようになるのか伺います。

水辺活用協議会等の設立へ



チーズとコーヒー豆の蔵入れ式
(宮ヶ瀬ダム)

※「河川空間のオープン化」とは地域の合意を受けたうえで、民間事業者も河川で営利活動等を行えること

商工観光課長 河川空間のオープン化により、地域が騒音等の影響を受けられる可能性があるため、その適用要件に、「河川敷地を利用する区域、施設、主体について、地域の合意が図られていること」が規定されています。
地域住民が協議会の構成員として加わることで、利用に関する課題改善や維持管理への協力が得やすくなることから、周辺住民との関わりは大変重要です。

可決議案の内容等

意見見書

会派議決一覧

一般質問

議会だより感想・
常任委員会

議会
お知らせ

学習活動に重要 綿密な調査研究

教育長 教科書は、児童生徒の授業や家庭での学習活動において重要な役割を果たすものです。その採択については、教育委員会の権限と責任において、綿密な調査研究をしたうえで、公正かつ適正に行っています。

問 現在出版されている教科書は複数あり、特に歴史教科書は取り上げる内容や表現に大きな違いがあります。そこで、教科書採択の基本的な考え方を伺います。

内容や表現に違い
教科書採択の考え



はなうえ いさお
花上 功 議員

真実に基づいた正しい歴史

問 子どもたちに真実に基づいた正しい歴史を教えるためには、特定の国や政治的立場に偏らず、歴史を自ら検証できる力を育てる教育が、正しい歴史教育に繋がると思っています。

本町では、事実に対する解釈や個人の考えを含む真実を、教師が生徒に教えるのではなく、子供たちの中で生成されるよう授業展開を工夫されているようですが、どのような工夫か伺います。

他者と議論する
学習活動を工夫

指導室長 生徒が各時代の特色と歴史の大きな流れを、多面的かつ多角的に考察して表現することができるよう工夫しています。既習の学習や新たに調べたことなどを基に自分の考えを持ち、他者と議論することで、自分の考えを再構成しながら深めていくような学習活動を行っています。



8社の歴史教科書

危険木伐採費用
補助制度の創設



いのうえ ひろあき
井上 博明 議員

問 令和6年12月議会で、危険木伐採に関わる費用の補助制度を創設するように要請しましたが、改めてその考えについて伺います。

対策の強化が必要
費用の後押し検討

町長 近年は、道路に面している緑地帯からも倒木事案が発生していることから、対策の強化が必要であると考えています。公道や電線等に被害を及ぼす恐れのある危険木の伐採費用について後押しできないか、よりよい方策の検討を進めています。

観光・産業連携拠点づくり事業
施設の整備や維持管理手法

問 本町が進める「観光・産業連携拠点づくり事業」は、観光振興と産業活性化を両立させる重要な取り組みです。

民間ノウハウ活用
効果的な手法協議

近年、自治体において施設を建設する際に入札が不調になる事案が発生しています。こうした中、施設の整備や維持管理手法として、包括的民間委託や指定管理者制度、PFI等が考えられますが、町長の考えを伺います。

町長 井上議員から発言があったように、包括的民間委託や指定管理者制度といった様々な手法があるため、民間のノウハウを活用し、効果的で適切な手法が見いだせるように協議をしています。

【その他の質問項目】
有害鳥獣対策について



小沢城坂 倒木発生
(令和7年10月2日)

かなちゃんパスへ影響と今後の対策



しずき 鈴木 信一 議員



問 神奈中バスの高
齢者割引乗車券
「かなちゃん手形」の制
度変更による影響と、
今後の対策について町
の考えを伺います。

**購入費助成が可能
最善策を検討する**

町長 制度変更に伴う影
響を考えると、今後の高
齢者外出支援について
様々な角度からの検討が
必要だと考えています。
また、助成がある場合に
払い戻しをできなくする
システム改修により、購
入費助成が可能な環境が
整いつつあることから、
最善策を検討します。



待機中の神奈中バス
(愛川バスセンター)

働き方改革推進の取り組み

問 町職員の健康管
理や働き方改革推
進の取り組みについ
て伺います。

**定期健康診断の実施
DXで事務の効率化**

町長 健康管理面では、
年に1度の法定健診のほ
か、ストレスチェックや
大腸がん検診等に加え、
町職員親睦会が行ってい
る人間ドック受診者への
助成事業に対する補助金
の交付、さらに臨床心理

士による「心の健康相談
事業」を実施しています。
また、働き方改革では、
勤怠管理システムの導入
により、勤務時間が効果
的に把握できる体制を整
備したほか、住民課にお
いて新たな受付番号の発
券機システムや「書かな
い窓口」を導入するなど、
DXにより住民の利便性
の向上を図るとともに事
務の効率化を進め、職員
の負担軽減を図っていま
す。

**総合防災訓練
成果と課題**



ししがみ 岸上 あつこ 議員



問 令和7年6月に
実施した総合防災
訓練の成果と課題につ
いて伺います。

**役割や連携等検証
訓練不足等が懸念**

町長 多言語機能別消防
団による応急避難所の設
置訓練等のほか、多くの
企業と相互に連携した実
効性のある訓練を通じて、
適切な役割分担と相互連
携協力の検証ができまし
た。一方、個人備蓄や危
機意識が浸透していない
ことや、自主防災組織の
人材不足や、より実践的
な訓練の不足が懸念され
ています。

**RSウイルス感染症
認識および予防対策**

問 RSウイルス感
染症は年齢を問わ
ず何度も感染を繰り返
し、特に基礎疾患を有
する高齢者は重症化の
リスクが高いことが明
らかになっています。
そこで、RSウイル
ス感染症への認識およ
び予防対策について伺
います。

町長 手洗いや消毒、マ
スクの着用などが予防に
有効であるため、引き続
き注意喚起を図ります。
また、60歳以上や妊婦を
対象にワクチンを任意で
接種でき、そのうち妊婦
を対象としたものは、令
和8年4月から全額公費
負担の定期接種とする方
針が国から示されました。
今後、国からの詳細な
情報を注視しながら、感
染予防対策に万全を期し
ていきます。



厚生労働省の
RSウイルス感染予防啓発ポスター

**先進事例と認識
導入に向け研究**

総務部長 進学や就職で地元を離れた若者と地域とのつながりを継続させ、Uターンや地域貢献につながる先進的な取り組みと認識していることから、導入について研究します。

**先進事例と認識
導入に向け研究**

問 「ファボタウン」は、住民や出身者、行政、地元企業、学校、団体などを「地元が好き」という共通項で繋ぐ公民連携のコミュニケーションソリューションサービスです。そこで、そのシステムに対する町の考えを伺います。

**ファボタウン
システムの考え**



い で 井出 かずみ 議員



**企業へ周知啓発
先進事例を参考**

問 従業員の奨学金返還を企業が肩代わりする代理返還制度には、3,700社以上登録しています。また、自治体による返還支援も、全都道府県と約5割の市区町村で実施され、返還者の経済的な負担軽減や企業の人材確保に繋がっていますが、これらの企業の取り組みに対する町の考えを伺います。

奨学金代理返還企業への支援

町長 奨学金代理返還制度は、若者の経済的負担軽減はもとより、企業にとっては人材確保や経費の一部として課税優遇などのメリットが考えられます。さらに本町にとっても若者の流出防止や地域経済の活性化による税収増等のメリットが考えられることから、企業への周知啓発のほか、自治体の先進事例なども参考に、企業の取り組みに対する支援を研究します。



**機器類更新約19億円
建て替えて約22億円**

環境課長 施設整備等方針検討業務における複数のプラントメーカーからの平均見積額では、既存建屋を使用し機器類を更新した場合は約19億円、建替えた場合には約22億円を見込んでいます。

問 固形物を取り除き水で薄め、公共下水道へ投入する希釈方式を採用した場合にかかる改修費用および建屋を含めた改修や建て替え等にかかる費用予測について伺います。

**希釈放流方式採用
改修等の費用予測**



あ べ 阿部 たかゆき 議員



衛生プラントの今後について

問 衛生プラントは竣工から約40年が経過して老朽化が進んでおり、施設維持や修繕にかかる費用は増加する反面、今後の人口減少とともに、し尿や浄化槽汚泥の搬入量の減少も予想されます。そこで処理方法を変更するとともに、建物の大幅な改修、もしくは建て替えが必要と考えますが、町の考えを伺います。

**下水道普及や人口減
方向性について判断**

町長 公共下水道の普及や人口減少により、し尿等の搬入量は操業当初と比較して、35パーセント程度まで減少しています。引き続き、効率的で持続可能な衛生プラントの在り方の検討を進め、施設の運用状況や費用対効果等を見定めた中で、今後の方向性について判断をしたいと考えています。



衛生プラント (水彩画調)

**公共交通利用実態
移動手段等の確保**



わたなべ もとい
渡辺 基 議員



問 本町は公共交通の町民満足度が低く、高齢化とバスの減便により、拍車をかけています。地域公共交通の利用実態に合わせた柔軟な移動手段の確保と、公共ライドシェア導入の考えについて伺います。

**地域の实情に即した
交通手段の確保検討**

町長 現在策定を進めている地域公共交通計画では、バス交通を補完するための新たな交通手段について、地域の实情に即した交通手段の確保を検討していきます。

自治会の今後の在り方

自治会の今後の在り方について、令和6年度からスタートした住民協働課での自治会対応とその成果について伺います。

**区長会との連携
粘り強く取組む**

町長 区長会と連携しながら加入率アップに向けて、粘り強く取組む一つひ

とつ積み重ねていますが、生活様式や価値観の多様化などにより、隣近所の付き合いが希薄化し、地域自治への関心が薄れてきている中で、それを高めていくことには難しさがあります。

今後区長会と連携をより一層図りながら、粘り強く自治会加入率の向上につながるような取組を模索します。



町HPに掲載しています

**オーバードーズ
乱用防止と対策**



さとう りえ
佐藤 里 議員



問 精神的苦痛から逃れるため、若者の間で市販薬を大量に服用するオーバードーズが急増しています。市販薬乱用を防ぐため、本町の対応や啓発活動について伺います。

**啓発活動を県と連携
授業等で危険性学ぶ**

町長 県と連携を図り、薬物乱用防止ポスターの掲示や広報等での周知、薬物乱用防止キャンペーンを行い啓発活動に取り組んでいます。また、小・中学校では保健体育などの授業で薬物乱用の危険性について学んでいます。



薬物乱用防止イラスト

ひきこもりの実情と支援状況

問 2023年の内閣府調査によると生産年齢人口におけるひきこもりの推計は146万人で、増加傾向にあることから、国も支援に対する取り組みを強化しています。

町長 重要な地域福祉課題の一つとして位置づけ、ひきこもり状態にある人やそのご家族が孤立することのないよう、適切な支援につながる仕組みの整備に努めています。

また、実態把握がしにくい課題であり、正しい理解の普及啓発を続けながら、相談しやすい環境整備に努めるとともに国や県、民間団体等との連携を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推し進めます。

**家族の孤立防ぎ
適切な支援整備**

そこで、本町のひきこもりの実情とその支援の状況について伺います。

町長 維持管理にあたり、専門の委託業者による定期点検を行っています。故障や不具合が確認された場合には、必要に応じて予備機器への切り替えや、応急復旧を行うなど適切な対応が出来るよう万全を期しています。

業者による定期点検
適切対応に万全期す

問 防災行政無線は、災害時に迅速かつ確実な情報伝達を担い、町民の生命や財産を守る重要なインフラの一つと考えますが、その維持管理の取り組みについて伺います。

町防災行政無線
維持管理の取組



くまさか けんたろう 議員
熊坂 健太郎



熱中症対策で保冷剤を
装着できる冷却ベスト

冷却ベスト着用
活動時間の工夫

問 消防職員や消防団員は、真夏の訓練や消火活動、救助活動などにおいて高温多湿的环境下で長時間体を動かすことが多く、熱中症のリスクが非常に高いです。そのため、組織としてしっかりとした対策が必要だと考えますが、熱中症対策の現状について伺います。

消防職・団員の熱中症対策



町長 災害時には保冷剤を装着できる冷却ベストの着用や、スポーツドリンク等を車両に常時積載して対策を講じています。また、長時間にわたる活動が発生した際には、隊員の健康を第一に考え、活動人員のローテーションを行っています。消防団では、日中の活動は避けていただき、涼しい夜間にポンプの試運転を実施するなど、熱中症の予防に努めています。

伐採厳しく規制
新たな整備困難

町長 この区域は土砂災害特別警戒区域に指定されていることから、立木の伐採などが厳しく規制されています。新たな整備事業を町が主体的に実施することは難しいと認識しています。

問 中津大塚地区から六倉地区にかけての河岸段丘は、樹木が生い茂っています。眺望の確保等、住民が親しみやすい魅力ある空間づくりが可能だと思いますが、町の考えについて伺います。

中津河岸段丘
魅力ある空間



かや 茅 議員
ひろむ 大夢



図書館と書店との協働

問 この20年間で、全国で4分の1の自治体から書店が消えています。経済産業省の書店活性化プランでは、書店を文化創造の基盤と位置づけ、自治体との連携を提言しています。そこで、図書館を拠点とした書店との協働事業の考えについて伺います。



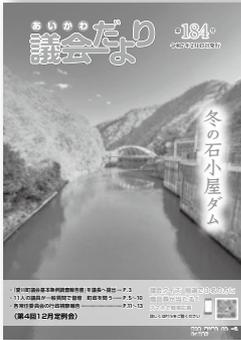
河岸段丘からの景観

教育長 本町にも店舗を構える久美堂では、町田市と連携し、図書館の本の受け渡しや返却等を店舗で行うことが出来るサービスを実施しているなど、地域に根ざした読書環境の整備に努めている事例もあります。こうした先進的な事例を参考に、地域の実情を踏まえた図書館と書店との連携について、研究していきます。

久美堂町田市連携
先進的事例を研究

議会クイズに120名の方から ご応募をいただきました

第184号から第187号までに寄せられたご意見・ご感想の一部を紹介します。



第184号



第185号



第186号



第187号

- ・ 愛川町のこと好きなので、次回の発行も楽しみにしています。(10代)
- ・ 自分が選挙で投票した人をはじめ、それ以外の議員さんの意見や考え方がわかり、次の選挙の参考にもなります。(40代)
- ・ 年々、議会だよりが親しみやすく、読みやすくなっていると感じています。(60代)
- ・ 毎号、表紙と裏表紙は楽しみの一つです。(表紙写真の場所に立ち寄るため) ちょっと遠回りしてウォーキングしてみようと思いました。(70代)

たくさんのご応募ありがとうございました。
今後も議会だよりをよろしくお願いします。



©愛川町

常任委員会 1月所管事務調査

常任委員会が所管する事項について調査するため、1月16日(金)に所管事務調査を実施しました。

●総務建設常任委員会

事業説明	① 「ええ町70 お楽しみ抽選会」開催経費等 ② 役場本庁舎・新庁舎・庁舎分館 ESCO サービス委託料 ③ 宮ヶ瀬ダムナイト放流開催経費
現地調査	④ 消防団車両小型動力ポンプ購入費 ⑤ 諏訪住宅 E-1号棟屋上防水改修工事



現地調査の様子 (六倉区)

●教育民生常任委員会

事業説明	① 病児保育事業費補助金 ② たすけ愛外出支援事業補助金等
現地調査	③ 田代小学校体育館防球ネット購入費 ④ 愛川聖苑照明器具 LED化改修工事 ⑤ 中津公民館3階プレイルーム東・幼児室エアコン設置工事



現地調査の様子 (中津公民館)

第38回 議会クイズ



問1 3月上旬から世帯主宛に引換券が郵送される、振興券の名称は何でしょうか。
 ① 愛川元気応援券 ② 愛川くらし応援券 ③ 愛川くらし盛り上げ券

問2 1月16日に常任委員会による所管事務調査を実施しました。
 消防団車両小型動力ポンプ購入費を現地調査したのは、どの常任委員会でしょうか。
 ① 総務建設常任委員会 ② 教育民生常任委員会 ③ 広報広聴常任委員会

問3 議会だよりは、読者の皆様に情報をより多くお伝えできるよう、二次元コードを掲載しています。
 今号で掲載している二次元コードの数はいくつでしょうか。(挿絵内のもは除く)
 ① 10 ② 16 ③ 20

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また必ず議会だよりの感想(紙面の見やすさなど)をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 3月31日(火)(郵送の場合は当日消印有効)

- 《あて先》
- はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
 - ファクスの場合 046-286-5021
 - 電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
 - オンラインの場合 右記の二次元コードを活用して、応募ができます。

☆正解と当選者名は次号で発表します。



この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。

第37回議会クイズの
答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・③10月15日

問2・①833万2,500円

問3・③12枚

《当選者》

吉岡 美雪 様

山本 律子 様

関戸 鉄也 様

以上3名

町議会との意見交換会

より一層の開かれた議会を目指すため、令和8年度も町民の皆さんと意見交換会(ワールドカフェ方式)を実施します。

日時：令和8年6月27日(土)

午後1時30分から

会場：役場 4階会議室

※詳細は、議会だよりや町議会ホームページで改めてお知らせいたします。

次回定例会の
お知らせ

令和8年3月定例会の日程は、左記のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。
 また、その運営について協議・決定する議会運営委員会は、2月18日に開催する予定です。

議会だよりは、愛川町録音ボラティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
 TEL 046-285-2111
 (内線3792)

令和8年 3月定例会日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	1
				本会議 (施政方針・議案の説明)		
2	3	4	5	6	7	8
本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			本会議 (個人総括質疑)		
9	10	11	12	13	14	15
本会議 (会派代表質問)	総務建設/ 教育民生 常任委員会			総務建設 常任委員会		
16	17	18	19	20	21	22
教育民生 常任委員会	総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会				
23	24	25	26	27	28	29
		本会議 (委員長報告 討論・採決)				

あいかわ・ほっこり写真館

新たな年を迎え1か月以上経過しましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 2026年も愛川町発展のため、議員一同、より一層精進してまいります。
 本号でも、愛川町の魅力をお届けするため、各委員が町内を巡り撮影してきました。
 それぞれの写真を見て、心が「ほっこり」していただければ幸いです。



落葉樹 空に描くは 大輪の花



小沢からゾウがでたぞう



悠久のとき



「小鳥の場」熊坂東以作



坂本地区の天野神社



中津地区の忠霊塔



道端に落ちた種から咲く花

◎議会クイズは13ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第189号は、令和8年5月15日発行・配布予定です。

編集後記

今号は、改選後の新たなメンバーによる最初の議会だよりとなりま
 す。令和7年の議会ク
 イズには多くの方から
 ご応募いただきました。
 寄せられたご意見やご
 感想は今後の広報活動
 に活かし、より議会活
 動が町民の皆様に関わ
 るような議会だよりの
 作成に努めます。また、
 令和8年度も意見交換
 会を開催して広聴活動
 にも尽力し、さらに新
 しい取り組みにも挑戦
 したいと考えています。
 引き続き、分かりや
 すい紙面づくりと議会
 への更なる町民参加を
 実現できるように努め
 ていきます。

広報広聴常任委員会

- 委員長 熊坂健太郎
- 副委員長 佐藤りえ
- 委員 花上 孝之
- 委員 阿部 隆之
- 委員 鈴木 信一
- 委員 井出 一己
- 委員 井上 博明